

殿

仕 様 書

熱電対用補償導線

品 名： R X - G - V V F

サイズ： 1 P × 0 . 5 mm²
(7/0.32)

2008年 9月 1日 発行

株式 福 電
会社

本 社： 大阪市東成区中本 1 - 6 - 2
T E L (06) 6974-0123 (代) 〒537-0022
F A X . (06) 6974-0128

柏原工場： 兵庫県丹波市氷上町氷上 1 8 番地
T E L (0795) 82-4041 (代) 〒669-3651
F A X . (0795) 82-4508

東京営業所： 東京都大田区蒲田本町 1 丁目 4 番 3 号
T E L (03) 5714-1411 (代) 〒144-0053
F A X . (03) 3731-5550

柏原工場品質管理室

承 認	作 成

1. 適用範囲

この仕様書は、R熱電対と組み合わせて使用する、ビニル絶縁ビニルシースを施した平形補償導線に適用する。

2. 関連規格

- (1). J I S C 1 6 0 2 ----- 熱電対
- (2). J I S C 1 6 1 0 ----- 熱電対用補償導線
- (3). J I S C 3 0 0 5 ----- ゴム・プラスチック絶縁電線試験方法

3. 構造

補償導線の構造は、付表及び次の各事項の通りとする。

3 - 1. 導体

下記材質の素線をより合わせたものを使用する。寸法、素線の構成は付表の通りとする。

R X [+ 脚 (正脚) ----- 銅
 - 脚 (負脚) ----- 銅ニッケル合金

3 - 2. 絶縁体

導体直上に付表の厚さに絶縁用ビニルを被覆する。
厚さの平均値は付表厚さの90%以上、部分最小値は付表の厚さの80%以上とする。
絶縁体の識別は下記の色とする。

+ 脚 (正脚) ----- 赤
- 脚 (負脚) ----- 白

3 - 3. シース

+ 脚と - 脚を平行に並べ、シース用ビニルを付表の厚さに被覆する。
厚さの平均値は付表厚さの90%以上、部分最小値は付表の厚さの80%以上とする。
シースの色は黒とする。

4. 試験項目

完成品は下記項目の試験を行い、各事項及び付表の値に適合すること。

- (1). 外観試験
- (2). 絶縁抵抗試験
- (3). 耐電圧試験
- (4). 往復導体抵抗試験
- (5). 熱起電力試験
- (6). 構造試験

5. 荷造り

完成品は1条ずつドラム巻又はタバ巻とし、運搬中損傷しない様に適当な荷造り包装を施す。

付表：補償導線構造及び特性表

項 目		寸 法 ・ 特 性
対 数 P		1
導 体	公 称 断 面 積 mm^2	0.5
	構 成 本 / mm	7/0.32
	外 径 mm	0.96
絶 縁 体	厚 さ mm	0.4
	外 径 mm	1.76
二 心 平 行 (短径×長径) 約 mm		1.8 × 3.6
シ ー ス	厚 さ mm	0.5
	仕 上 り 外 径 (短径×長径) 約 mm	2.8 × 4.6
耐 電 圧 A C V / 1 分		700
絶 縁 抵 抗 - K m		40 以上
往 復 導 体 抵 抗 / Loop · m		0.165 以下
熱 起 電 力 m V		50 : 0.296 ± 0.030
〔 基 準 接 点 : 0 〕		100 : 0.647 ± 0.030

付図：構造断面図

